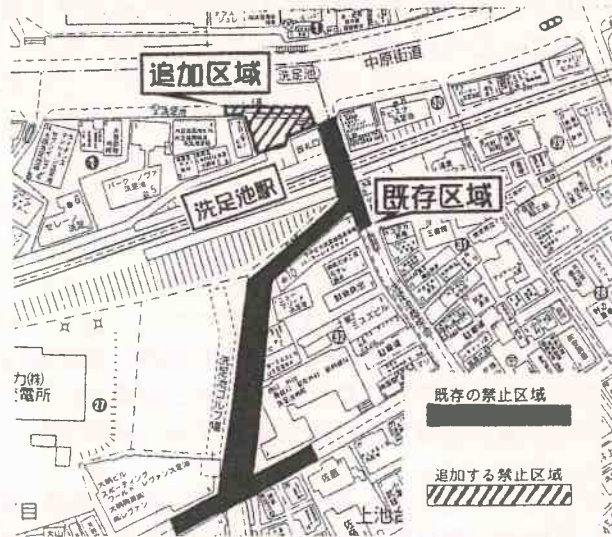


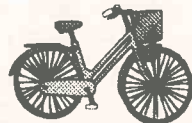
洗足池駅周辺の放置自転車禁止区域が追加されます!

洗足池駅周辺の放置自転車禁止区域が追加されました。平成16年4月1日以降、放置自転車禁止区域内に放置されている自転車は撤去されます。追加区域は下記のとおりになります。



(平成16年4月1日より)
大田西地域行政センターまちなみ整備課

自転車対策担当
電話 3722-2514



※今回、サークル紹介は都合によりお休みさせていただきます。

私の健康法⑤

バブルがはじけて以来長引く不況に伴い、出費を減らすためシルバーパスを使い、都営地下鉄とバスを利用して都内散策巡りを楽しむ機会が多くなりました。

外食を避けて握り飯四個とベッ トボトルにお茶を入れて、昼飯携帯で二人連れの珍道中。歩きながらけんか、気の強い者同士売られ たけんかは買ってしまふ。金婚式もとくに過ぎ、五十六年けんかばかり。いつもそばにいる不思議な夫婦です。

照る日はひたすら歩き、曇る日はデパートでウィンドウショッピング、買わずに見るだけで結構運動になります。
そんな状態で続けるうち糖尿病



(上池上 今井 成一)

の家の内、血糖値が下がり、医者 に褒められる程になりました。
生来、能天気な私は思ったこととは腹にためないで、みなはき出す性質でせがれに叱られること度々。とりたてて、私の健康法は特にありませんが女房の糖尿病を治すためでしたが我が身にも良かったことです。
お金は無くても平和な我が家にとつて嫁に当たったこと。宝くじに当たったより喜ばしい幸せです。天寿を全うするまで歩こうと思います。

母校の思い出 ⑰ 楽しかった小学校時代

戦後生まれの私、当時の親は子どもを育てるため経済的に、食糧の調達で苦労したに相違ないと遅まきながら感謝してる。

昭和27年4月小池小学校へ入学した1年坊主の私は、学校帰りに小池の釣堀で鯉をゲット。それを上着のポケットにねじ込んで早足で帰るも魚が弱ってきた。現在の洗足池シティホール辺りに湧水があり、そこに鯉を泳がせ元気になったので洗足池へ放流した思い出。

翌28年に洗足池小へ転校し2年生～6年生まで過ごした。私たちの学年は1学級34人前後の2クラスで、卒業まで組替えが無かったが学年みな仲良かった。

勉強ができなくとも、何か特技があればそれを認めあった。数校から集まった新しい友達だが近頃のようないじめなど無かったと記憶している。

その頃の遊びは珍しかった自動車の名前当てで、校庭の街道沿い側にベタ座りをして街道を往来する車の名前、「オースチン、ヒルマンミンクス、シボレーetc」と競い合い休憩時間終了のベルが鳴っても教室へ戻らず先生に叱られた事も。

中原街道は未だ砂利道で馬や牛の荷車を引く姿があり、学校帰りに道路に落ちて馬のフンを踏んで帰宅する。牛のフンを踏むと背は伸びないが、馬のフンを踏むと背が伸びると誰かが言っていた。ちなみに私の身長は174.5cmとなった。

今回投稿のお話を受けた折、偶然にも洗足池小昭和33年3月卒業の同期会開催の案内が届いていた。数十年ぶりであり、早速出席の返信葉書をPOST-IN。新宿での再開を楽しみにこの原稿



を記しているが、みなの名前がわかるかなあと心配もある。

これからはますます健康に留意をした日々を過ごすよう心掛けている。

(笹丸 鶴間 育)

「編集後記」

桜前線の北上で春本番を迎えます。

しかし、鳥インフルエンザの問題等その他気の休まる所がありません。それぞれの機関で早期に対応、解決して下さるよう望んで止みません。

当雪谷特別出張所も本年一月より、ホームページを開設いたしました。雪谷地区のたくさんの方の情報、ふれあいの記事等掲載しております。皆様是非アクセスしてみてください。
(小池 山下雅己)

【発行】わがまち大田雪谷地区推進委員会
【編集】ふれあい雪谷編集委員会
【連絡先】雪谷特別出張所
大田区東雪谷四一三二二
電話 三七一四一五二二
【発行日】平成十六年四月一日
通巻第五十四号

ホームページ

<http://www.city.ota.tokyo.jp/nishi/yukigaya/index.htm>

ふれあい
雪谷

平成16年
さくら号



(石川台 渡谷 武次さんの作品)

全国の桜・保存林の紹介

春の訪れとともに日本人の心をときめかせる桜の開花。古来より圧倒的な存在感で「花」と呼ばれ、たくさんの古歌や俳句に詠まれてきた無数の桜たち。バラ科の落葉高木で、葉は互生し、花びら・がくはともに5枚で多数のおしべをもちます。中国、ヒマラヤ地方にも分布しますが、日本に最も種類が多く、奈良時代から栽植されてきた日本の国花です。

多摩御陵、高尾山のそば武蔵野台地に広がる「多摩森林科学園」の桜をご紹介します。

中央線高尾駅から徒歩15分、緩やかな上り坂を歩くと多摩森林科学園に着きます。見学のしおりによりますと、この場所は400年もの昔、小田原の北条氏が南下してきた武田の軍勢を迎え撃った古戦場で、江戸時代には幕府の直轄地となり、明治になって宮内省に編入。現在は「多摩森林科学園」として、森林動植物の生態系に関する研究を進めながら都市近郊の貴重な自然を守っています。

面積約8haのサクラ保存林には、江戸時代から伝わる栽培品種や国の天然記念物に指定された桜のクローンなど、全国各地からの桜1700本が植えられています。

咲く時期は種類によっていろいろで、2月下旬から4月下旬にかけて順次見頃となります。

桜といえば山桜が染井吉野、そして八重桜しか知らなかった私は、あらためてその種類の多さと華やかさに感心し、見とれてしまいました。豊かな自然とおいしい空気を胸一杯に吸うことができ、森林浴を大いに楽しめます。

下記に桜の種類を書きました参考にしてください。

かんひざくら りゅうきゅうかんひざくら ようこう かんざん やまもとのおちょうらん
*紅色…寒緋桜・琉球寒緋桜・陽光・関山・山本大提灯・

べにゆたか はながさ
紅豊・花笠

たいはく あまぎよしの こまつなぎ しらたえ あまやどり しらくき しらだき
*純白…太白・天城吉野・駒繁・白妙・雨宿・白雪・白滝

しだれ みどりざくら
枝垂・緑桜

ぎょいこう うこん
*緑や黄色…御衣黄・鬱金

むらさきざくら やだけむらさき
*紫がかった…紫桜・矢岳紫

しろたえ みくるま はながさ たいはく
*大輪…白妙・御車がえし・花笠・太白

ちようしざくら みやまざくら やえべにしだれ
*小輪…丁字桜・深山桜・八重紅枝垂

するがだいにおい あらかわにおい はんりこう
*匂いのある…駿河台匂・荒川匂・万里香

あま がわ
*上を向いて咲く…天の川

*二度咲く(10月から12月頃と4月の2回咲きます)

しきざくら じゅうがつざくら ふゆざくら ふうだんざくら
…四季桜・十月桜・冬桜・不斷桜

約1700本の桜は、桜の海という表現がぴったり。豊かな花と緑、そして老樹木、いろいろな鳥やけもの、大都市のオアシスをゆっくりと散策、お花見や森林浴にちょっと足を延ばしてみませんか。

(小池 山下 雅己) 資料提供: 多摩森林科学園



☆ 新入学おめでとう！お祝いメッセージ ☆

けんとうへ 贈ることば

1歳の時から5年通った保育園生活もうすぐ終わります。はじめは毎朝ママと別れるのがつらくて泣いていたね。でもすぐに慣れて、毎日楽しく元気に通えました。お友達もたくさんできました。そんなけんとうの笑顔があったからこそママもお仕事がんばってこれたんだよ。「ありがとう」

4月からは小学生。これからはお友達を大切に、いろんなことに挑戦していったね。

いつもママはけんとうを応援しているよ！(南雪谷 樹中 美佐)

成長中の子へ

子どもって、一番先に不満から覚えるのかと思う程、「やだー」を連発した2歳前後。親が気づいた時には、一番まねして欲しくない悪癖をすでに「習得済」。

4歳からの自己主張と環境による極端な「正義感」と「頑固さ」のめばえは親を慌てさせ、「この子大丈夫かな？」との心配も、本人は周囲との折り合いを付けて、環境に適合中。「自分

が嫌だと思ったことを他の人にしないように」という「思いやりの心」と人に流されない“強い心”を持った大人になれるように成長して欲しいと願う日々が続いています。

(東雪谷 H. S)

美しい環境づくり⑩

春は桜と笑顔

桜の花がほんの少し咲いた。

ピカピカの1年生が歩き、日射しが少しずつ暖くなり、人々の着ている物も明るい色が目立つようになってきた。お酒もおいしい季節なのだろう。人々は洗足池の桜のある山の方へと歩く。それを私共は桜山と呼んでいる。きっとお酒好きにとってはこのひとときが、平和な気分なのだろう。

本当に平和なのかと春先には毎年のように考える。隣は何をする人ぞ？とお隣りさんの顔も家族も知らないままで何十年も暮らして来たような気がする。そんな状態のところ、見知らぬ顔が裏口や、庭先に現われたらこちらは、大いに戸惑うし大きな事件への展開もないとは言えない。

地域の中で隣同士がまず笑顔であいさつ、そして仲良くおしゃべり、それは自然に支え合う気持ちを培う。最近話題のピッキングやヒッククリが、明らかに激減することが幾つかの自治会で試行して成功を見ているという。

最近学校帰りの小学生が、時には元気に、時には優しく「こんにちわ！」「ただいま！」と声を掛けてくる。当然、丁寧に返事をしてあげるのだが、聞くところによれば学校では、近年生活指導の重点目標として「明るいあいさつ、心をこめて」の実践を1つのテーマにしている由。

大人も子どももこの桜の季節にまずは身近な人々の間から、笑顔が溢れるように、そして段々に広がりを見せるように！それが本当の平和と言えるのではないだろうか。春先の提案である。

(池の台 市岡 宏)



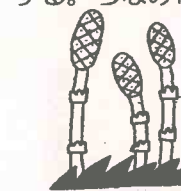
自治会リレー随筆

多摩川の鎌イタチ

数年前の夏のことである。多摩川の河川敷にあるゴルフ場へ友人と出かけた。ハウスで身支度をして土手を登り川の方へ下りようとしたとき、滑って足を取られ尻餅をつく格好で仰むけに倒れた。別にどこも痛めたふうではなかったが、気がつくとズボンの左膝のところが少し裂けている。「おやっ」と思い急いでズボンをめくってみると、膝頭が2つにパクッと割れ大きな口を開け中の肉が白く見えていた。出血はない。持っていた絆創膏で裂け口をふさぎ手ぬぐいでしっかり縛って近くの病院へ行った。

病院の医師は「これは俗に言う鎌イタチですね」と言って5針の縫合手術と破傷風の予防注射をしてくれた。鎌イタチというのは、川の近くでつむじ風がおこりその中心に真空部分ができ、そこで人体に衝撃を受けたときにできる現象といわれるが不思議である。特に信越地方に多く越後では七不思議の1つになっている。

「鎌イタチにやられた」と言うと、東京にイタチがいるのかとか、どこでかみつかれたのかといった質問を何人かの知人からうけた。鎌イタチを知らない人が多いようである。多摩川で鎌イタチにやられることがあるということを認識してほしい。多摩川へ遊びに行くときは、土手で転ばないように気をつけること、また用心のために絆創膏と手ぬぐいを携帯するようお勧めする。ちなみに私が鎌イタチにやられたのは70歳のとき、自分



では老人と思いたくないが肉体が老化し足腰が弱ったために起こったと思われる。65歳以上の方は転倒しないよう歩行に十分気をつけてください。

(東雪 荒井 亮三)

俳句

竹を踏む足裏に春の温みあり
(池の台 岡 澄子)

梵鐘にうすき目覚や春がすみ
(池の台 岡 澄子)

突く杖の大地の音の春めける
(南雪谷 大和 敷)

百の眼が春の雪舞う校庭に
(南雪谷 大和 敷)

気にかかる子も二三を卒業す
(南雪谷 大和 敷)



この情報誌は古紙100%の用紙を使用しています。